

I【必修】

講習番号 1.

開設講習名	【必修】 教育の最新事情			受講人数	100人
開設日	令和2年8月17日	時間数	6.0時間	受講料	6,500円
講習の概要	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む)」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることをめざす。				

II【選択必修】

講習番号 2.

開設講習名	【選択必修】 これからの学校教育に求められる課題	選択必修領域講習として取り扱う内容	学習指導要領の改訂の動向等/学校における危機管理上の課題	受講人数	70人
開設日	令和2年8月19日	時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象職種	-	主な受講対象者	■学校種(幼稚園/小学校/中学校/高等学校) ■免許種類、教科等(教諭・養護教諭) ■職務経験等(初任者～中堅教員向け)		
講習の概要	本講習では、新学習指導要領を読みといたPDCAの授業づくりのあり方について、教材開発、「主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)」をめざした授業展開、そして、実現をめざす資質・能力について考察する。2つ目として、学校管理下におけるさまざまなリスクマネジメントについて解説するとともに、実際に発生した事例や判例を紹介し、指導現場における危機管理について実践的に学んでいく。また、グループワークにおいて、ヒヤリ・ハット体験事例を発表し合い、情報共有を行い、リスクマネジメントの必要性についての理解を深める。				

講習番号 3.

開設講習名	【選択必修】 育成すべき資質・能力を育むための学習課程と指導法の改善I	選択必修領域講習として取り扱う内容	育成を目指す資質及び能力を育むための主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	受講人数	50人
開設日	令和2年8月18日	時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象職種	-	主な受講対象者	■学校種(小学校) ■免許種類、教科等(教諭) ■職務経験等(初任者～中堅教員向け)		
講習の概要	学習指導要領の方向性、育成すべき資質・能力、アクティブラーニングの基本理念やその目的、これからの学習評価のあり方などについて講義する。さらに、それらを踏まえた授業設計やそれを支援するためのツールについて共有し、ワークショップを通して、実際に授業を設計し、実践するための知識・技能の習得を図る。本講義においては、算数科、社会科を窓口として具体的な実践事例を取り入れて行う。				

講習番号 4.

開設講習名	【選択必修】 育成すべき資質・能力を育むための学習課程と指導法の改善II	選択必修領域講習として取り扱う内容	育成を目指す資質及び能力を育むための主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	受講人数	30人
開設日	令和2年8月19日	時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象職種	-	主な受講対象者	■学校種(小学校) ■免許種類、教科等(教諭) ■職務経験等(初任者～中堅教員向け)		
講習の概要	学習指導要領の動向を視野に入れ、教育課題の解決に資することを目的として「音楽科」「図画工作科」「体育科」の各教科における新たな知見を紹介します。受講者の実践上の課題を踏まえつつ、教育現場の課題解決に向けて、各教科の学習内容、教授方法、授業改善に関する講義・演習を行う。				

講習番号 5.						
開設講習名	【選択必修】 子どもの心の発達と適応を支援する教育相談の理論と実際	選択必修領域講習として取り扱う内容	教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)	受講人数	50人	
開設日	令和2年8月19日		時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象職種	-	主な受講対象者	■学校種(幼稚園/小学校/中学校/高等学校) ■免許種類、教科等(教諭・養護教諭) ■職務経験等(初任者～中堅教員向け)			
講習の概要	生涯発達の視点からみた幼児期～思春期の意義と重要性をふまえ、子どもに見られる発達・適応上の課題・問題の理解と、適切な指導・援助に向けた教育相談の進め方について、保護者・専門機関等との連携・協働を視野に入れながら、発達理論、システム理論、学校心理学、臨床心理学等にもとづいて概説する。また、演習を通して保育・教育の現場における気になる子ども・保護者理解と対応のためのカウンセリング理論と技法のいくつかを紹介し、子どもの育ちをより適切に支える対応の手がかりを提供する。					

講習番号 6.						
開設講習名	【選択必修】 特別支援が必要な子どもの保護者・教師・地域の連携と支援	選択必修領域講習として取り扱う内容	学校、家庭及び地域の連携及び協働	受講人数	60人	
開設日	令和2年8月20日		時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象職種	-	主な受講対象者	■学校種(幼稚園/小学校/中学校/高等学校) ■免許種類、教科等(教諭・養護教諭) ■職務経験等(初任者～中堅教員向け)			
講習の概要	特別な配慮が必要な子どものニーズや保護者の理解を深めるとともに、関わる専門機関の種類や役割、連携に必要な個別支援計画について講義を通して学ぶ。その際、特別な配慮が必要な子どもとはどのような子どもなのか、また幼児、児童及び生徒といったライフステージでの子どものニーズや関わる専門機関が異なることを理解する。さらに、他機関や保護者との連携について事例やワークを通して学ぶ。					

講習番号 7.						
開設講習名	【選択必修】 特別の教科道徳に求められる授業づくり	選択必修領域講習として取り扱う内容	道徳教育	受講人数	40人	
開設日	令和2年8月18日		時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象職種	-	主な受講対象者	■学校種(小学校/中学校) ■免許種類、教科等(教諭) ■職務経験等(初任者～中堅教員向け)			
講習の概要	教育哲学の視座から道徳教育に求められる理論とその背景を踏まえ、これまでの道徳授業の課題を整理する。その上で「特別の教科 道徳」の授業の実施に向けた授業づくりのポイントについて整理し、実際の教材を用い、授業づくりの在り方について体験的に理解を深める。さらに道徳科の評価の在り方やその工夫についての理解を深め、教育実践に活かすことを目指す。					

講習番号 8.						
開設講習名	【選択必修】 ICTの活用とプログラミング	選択必修領域講習として取り扱う内容	教育の情報化(情報通信技術を利用した指導及び情報教育(情報モラルを含む。)等)	受講人数	40人	
開設日	令和2年8月18日		時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象職種	-	主な受講対象者	■学校種(幼稚園/小学校/中学校/高等学校) ■免許種類、教科等(教諭) ■職務経験等(初任者～中堅教員向け)			
講習の概要	教育の情報化に関する諸施策を踏まえ、授業でのICT活用、情報教育の具体的な内容とその方法、効率的な校務処理、学習指導要領の改訂を踏まえた一人1台等のICT環境における先導的な取り組み、その効果と問題点等を一緒に考える。また、児童生徒に対する情報モラル教育の進め方や家庭連携の必要性について、発達段階に応じた教材とその指導案、実践事例を紹介する。					

Ⅲ【選択】

講習番号 9.						
開設講習名	【選択】 幼小連携カリキュラム工夫Ⅰ	選択必修領域講習 として取り扱う内容	-	受講人数	50人	
開設日	令和2年8月18日		時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象 職種	教諭	主な受講対象者	幼稚園・小学校の教諭			
講習の概要	小学生に対する教科指導上の課題について、幼児期の教育との連携の視点も踏まえて講義する。また、教科指導だけでなく生徒指導上の課題についても解決を目指しながら、新学習指導要領に沿って教育を行うにあたって教員に求められる資質・能力の育成を目指す。					
講習番号 10.						
開設講習名	【選択】 幼小連携カリキュラム工夫Ⅱ	選択必修領域講習 として取り扱う内容	-	受講人数	40人	
開設日	令和2年8月19日		時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象 職種	教諭	主な受講対象者	幼稚園・小学校の教諭			
講習の概要	幼稚園と小学校の接続の課題解決をカリキュラム開発により解決する方法について、受講生の勤務校・園における問題点から課題を明確にする。はじめに、「スタートカリキュラム」を取り上げる。次に、幼稚園におけるアプローチカリキュラムを取り上げる。アプローチカリキュラムでは、健康領域及び表現領域を対象としたワークショップを行い、幼稚園での指導案の作成や指導計画案作成を通して実践のための知識・技能の取得を図る。スタートカリキュラムは、生活科を取り上げ、入学式をスタートとして、学校での出会いや学校施設の関わり方などの実践事例を紹介しながら、日頃の実践に役立つ指導計画から知識・技能の習得を図る。					
講習番号 11.						
開設講習名	【選択】 幼児を育む保育実践	選択必修領域講習 として取り扱う内容	-	受講人数	30人	
開設日	令和2年8月20日		時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象 職種	教諭	主な受講対象者	幼稚園の教諭			
講習の概要	幼児の生活は養護と教育が一体化したものである。養護面では「食」を取り上げ、園所での食育実践のポイントを、講義と簡単な実践を交えて行う。教育面では「絵画」に焦点をあて実際に絵画制作をすることで、幼児が面白いと感じる絵画技法を学ぶ。					
講習番号 12.						
開設講習名	【選択】 幼児・児童の生活と生体のリズム感	選択必修領域講習 として取り扱う内容	-	受講人数	20人	
開設日	令和2年8月21日		時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象 職種	教諭	主な受講対象者	幼稚園・小学校の教諭			
講習の概要	本講習では、①保健学的な立場から、子供の発達にとって望ましい生活リズムの形成について解説するとともに、②子供の感性を育み、情操を豊かにするための生活の中での音楽の活用方法について実践的に学ぶ。①については、主に講義形式で、②は演習形式で展開する。					

講習番号 13.

開設講習名	【選択】 学校におけるヘルスケア	選択必修領域講習 として取り扱う内容	-	受講人数	40人	
開設日	令和2年8月21日		時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象 職種	教諭・ 養護教諭	主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭、および養護教諭			
講習の概要	近年の食物アレルギーの現状と課題について講義する。学校におけるアナフィラキシー発症時の観察ポイントと、アドレナリン自己注射薬(エピペン)の取り扱いや緊急時の対応についてシミュレータを用いて演習を実施する。基礎的なアセスメントからエピペンの実施体験まで、誰でも不安なく対応の習得ができるよう授業を展開する。					

講習番号 14.

開設講習名	【選択】 体育・スポーツの危機管理について	選択必修領域講習 として取り扱う内容	-	受講人数	30人	
開設日	令和2年8月18日		時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象 職種	教諭	主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校の教諭			
講習の概要	体育および課外活動において発生する可能性のあるスポーツ傷害についての基礎的理論を学び、その発生要因を対象者の状況別に分類し、グループワークを通じて予防と対処法方法について検討する。また、本講習においては、実際のスポーツ現場で指導者等の管理者に必要とされる実践的な知識やスキルの学習に重点を置く。					

講習番号 15.

開設講習名	【選択】 特別な配慮が必要な子どもへの指導・援助の工夫	選択必修領域講習 として取り扱う内容	-	受講人数	50人	
開設日	令和2年8月19日		時間数	6.0時間	受講料	6,500円
履修認定対象 職種	教諭・ 養護教諭	主な受講対象者	幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭、および養護教諭			
講習の概要	特別な配慮が必要な子どもの特性および保育や教育上の配慮や指導の工夫について講義やワークを通して学ぶ。その際、特別な配慮が必要な子どもとはどのような子どもなのか、また幼児期・児童期・思春期といったライフステージで表出する子どもの課題・問題等についても理解を深める。					